

医療栄養学科：臨床検査コース

アドミッションポリシー

■医療栄養学科が求める学生像

本学の医療栄養学科は、管理栄養士を養成する管理栄養コースと臨床検査技師を養成する臨床検査コースからなります。

近年、「食育基本法」、「栄養ケア・マネジメント」、「健診・保健指導」など制度改革が行われ、国や社会から質の高い管理栄養士への期待が高まっています。あらゆる世代に「食の重要性」を分かりやすく情報発信し、結果を出すことで、大きな社会問題となっている「生活習慣病の予防および医療費の削減」に貢献するという重要な役割が求められています。

本学医療栄養学科は、生活習慣病の予防や指導、入院患者さまの食事管理に取り組むだけでなく、対象者に対して意思疎通・行動変容をおこすことができる管理栄養士を養成します。

一方、医師の診断、治療経過の判定など、医療に欠かせないのが臨床検査です。それを担うのが臨床検査技師ですが、患者さまの生命を預かるだけにその責任も重大です。患者さまの救命に必要な検査を正確に精度良く測定できる技術を修得させ、同時に、医学研究や多様化する医療に貢献できる基礎力や応用力を備え、医療人に求められる倫理観あふれる誠実な臨床検査技師を養成します。

なお、本医療栄養学科の特徴として、管理栄養コースと臨床検査コースの教育が混合同行して行われますので、他の養成校と異なり、臨床検査に明るい管理栄養士や臨床栄養の知識を有する臨床検査技師を養成します。このことは予防医療や医学研究にも貢献できる管理栄養士や臨床検査技師として社会からの期待も一層、高まりつつあります。

■具体的な人物像

- ・幅広い教養や視野を求め、かつコミュニケーション力に秀でて協調性、思いやりのある人
- ・食と健康に飽くなき探究心のある人
- ・患者さまや一般市民に、健康問題のプロとして責任ある医療人を目指す人
- ・健康と医療における栄養の意義、臨床検査の意義を十分理解し、実践することに意欲のある人
- ・疾病の治療や健康保持・増進に向けた、おいしい食作りに関心のある人（管理栄養コース）
- ・臨床検査を通して、医師の診断や治療に貢献したいと考えている人（臨床検査コース）

カリキュラムポリシー

■保健衛生学部のカリキュラムポリシー

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、保健衛生学部には、放射線技術科学科、医療栄養学科、理学療法学科、医療福祉学科、鍼灸学科を設置し、放射線、磁気共鳴等を使う医療、健康と栄養、運動機能回復、介護・福祉、鍼灸医療等に関する諸科学及び医学について最新で高度な教育・研究を行うことによって、優れた専門知識と技術、医療人にふさわしい教養と人間性を身につけた人材を育成することを目的とする。

■医療栄養学科のカリキュラムポリシー

1. 管理栄養士、臨床検査技師として必要な人間性と教養を養う科目を配置する。
2. 医学検査の知識を基礎に、栄養および健康科学に精通した人材を育成する。
3. 栄養管理、臨床検査等の知識を身につけて病院等医療機関、食品業界、医療機器業界、教育、行政等の分野で活躍できる人材を育成する。
4. チーム医療の一員として活躍できる人材を育成する。
5. 健康増進と疾病予防に貢献できる人材を育成する。

■臨床検査コースのカリキュラムポリシー

1. 臨床検査技師として必要な人間性と教養を養う科目を配置する。
2. 臨床検査の高度な知識と技術を身につけ、医療の発展に貢献できる臨床検査技師を育成する。
3. 栄養の知識を持った上でチーム医療の一員として活躍できる臨床検査技師を育成する。
4. 病院等医療機関、医療機器業界、教育、行政等の分野で活躍できる臨床検査技師を育成する。
5. 健康増進と疾病予防に貢献できる臨床検査技師を育成する。

ディプロマポリシー

■保健衛生学部ディプロマポリシー

幅広い教養と専門分野に関する学問知識を修得し、豊かな人間性・柔軟な科学的思考力を身につけ、保健・医療・福祉の担い手としての基本的能力を持つ。また各専門分野において将来、指導的立場に立ち、高度化・専門化する医療を支えるために、基礎理論から臨床応用へ至る系統的かつ実践的な学習を基盤とした知識・技術を高めることができる。

■医療栄養学科ディプロマポリシー

1. 豊かな人間性と教養を身につけている。
2. 高度な栄養管理および臨床検査を提供できる。
3. チーム医療の担い手として責任を十分果たすことができる。
4. 研究開発ができる能力を有する。
5. 健康増進と疾病予防に貢献できる。

■臨床検査コースディプロマポリシー

1. 豊かな人間性と教養を身につけている。
2. 高精度な臨床検査を提供でき、その結果が説明できる能力を有する。
3. 臨床検査学と栄養学の両視点から医学・医療を捉えて考察する能力を有する。
4. チーム医療の担い手として責任を十分果たすことができる。
5. 地域の健康増進と疾病予防に貢献できる。